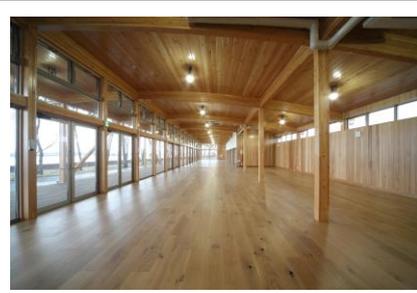


プロジェクト写真



施設概要

構造・階数：木造軸組工法（大断面）・1階建て
 建築面積：496.49㎡ / 延べ面積：496.49㎡
 最高の高さ：4.42m / 最高の軒の高さ：4.30m
 所在地：宮城県名取市閑上5丁目23-20
 竣工：2013年5月

製作メンバー

設計：意匠、電気、機械設計・監理 / セルコホーム株式会社一級建築士事務所
 構造設計 / セルコホーム株式会社一級建築士事務所
 施工：セルコホーム株式会社
 部材供給：ベイマツ構造用集成材・内装羽目板・CLT（エントランス風除室：壁・天井）
 / ストラクチャム(カナダ)

協議会との関連

セルコホーム株式会社

宮城県CLT等普及推進協議会 企業会員・幹事会・運営委員会・施工部会部会長企業
平成29年度 東北大学 建築CLTモデル実証棟の施工（タスクフォースメンバー）
平成30年度「県産・木のビルプロジェクト推進事業」の補助金申請採択を受け、
セルコホーム株式会社 汎用型CLT集合住宅（4階建て・耐火構造）を企画。
同協議会企業の株式会社関・空間設計にて設計業務を行っている。

概要・設計趣旨

2013年1月、東日本大震災で受けたかつてない規模の被害から復興するためにカナダ連邦政府・ブリティッシュコロンビア政府・アルバータ州・カナダ林業業界・カナダウッド・グループが支援の提供を決めた。「カナダー東北復興プロジェクト」は ①東北の地域社会に人道的援助を提供する、②二国間の友好関係を深める、③サスティナブルなカナダ建築材を使用し革新的なデザインの木造建築を建築する、という大きな目的で事業募集が開始した。セルコホームはカナダ輸入住宅を通じて培ったカナダとの関係をフルに活用し、宮城県名取市関上（ゆりあげ）：「名取ゆりあげ朝市」の復興に貢献すべく、喪われた朝市店舗施設と記念パビリオンの計画、応募、設計、建設を行った。その復興活動はグッドデザイン賞2017、ベスト100に選出された。

設計者



設計・監理：セルコホーム(株)一級建築士事務所（杉浦洋一）

本プロジェクトでは東日本大震災で被災した人々のために、多くのカナダの善意を寄せていただきました。住宅の支援は応急仮設住宅等で進捗していましたが、非居住用施設の再建は遅れていて、地区の商業施設を喪失したゆりあげもその一つでした。新鮮な地元の魚や野菜や花をいち早く供給すると共に、地域のコミュニティの再建に大きく貢献する施設にしたいと、計画を持ち掛けた当初から、住民の皆さん、朝市組合長、ボランティアの設計事務所、とワークショップを繰り返し、どのような機能が一番必要とされているのか、何を優先すべきかを語り合い詰めていきました。商売の再スタートをするための「店舗（15戸分）」と朝市の情報発信、販売、コミュニティ再建のための「メイプル館」が必要とまとめ建設しました。現在は従前以上の集客状況で賑わっています。皆さん一度訪問ください！

アクセス

仙台東部道路
名取ICから
車で10分

住所：
〒981-1213
宮城県名取市関上
5-23-20

